

これからの 自治体職員のあり方とは

間もなく「平成」という時代が終わりを告げ、新たな時代が到来します。

地方分権の推進、人口減少社会の到来、行政改革、公民連携、情報通信技術（ICT）の発達、そしてグローバル化など、近年地方自治体を取り巻く環境が大きく変わる中、こうした環境の変化に対応できる職員が求められています。

そこで、政策情報誌「Think-ing」第20号では、「これからの自治体の職員のあり方とは」を特集テーマとし、これに関する有識者の方の寄稿論文、当広域連合の構成団体の自治体職員による取組事例等を幅広く取り上げます。

これからの新しい時代を迎える自治体職員が、各自治体で活躍するためのヒントにしていいただければ幸いです。



彩の国さいたま人づくり広域連合 自治人材開発センター